

ATV2 ヨハネス・ケプラーが行く

先月は、日本の H2B で HTV2号機(こうのとり)が打ち上げられ、その撮影で結構楽しみましたが、去る 2 月 17 日には、ヨーロッパ宇宙機関の ISS 補給機 ATV2(ヨハネス・ケプラー)が打ち上げられました。

そこで、こうのとりに引き続き、2 月 20 日に、ISS と併走する ATV2 の撮影を試みました。当日は残念ながら薄雲が覆っていて、よいコンディションとはいえませんでした。インターバルで連写をして、なんとか ATV2 と ISS の光跡を撮ることができました。

ATV2 は ISS とドッキングをするために殆ど同じ軌道をめぐっているはずですが、ATV2 が ISS に対して約 7 分間先行しているため、その間に地球が自転して地上のほうが見えてしまうことから、2 つの衛星の光跡がずれて写っています。あとを追いかける ISS の光跡のほうが見えてくる(下側)にずれているのはそのためですね。

ところで我が家の周辺は、航空機の航路の真下にあたって、ひっきりなしに旅客機が通過します。おかげで撮影の間も、あちこちに飛行機が飛んでいて、どれが本当の人工衛星やら探すのに苦労しました。

写真のほうにも、1 枚 1 枚の写真には飛行機の光跡がいっぱい写ってしまいましたが、比較明合成のごまかしを期待して、全部消してしまいました

デジタルは加工が自由自在とはいえ、実際のところ、手を加えるのは気が引けます。ダストを消すというのは、銀塩時代のスポッティングですからまず許容範囲と思いますが、飛行機を消してしまうのは少々いかなことかと思っています。通常の風景写真なら御法度でしょうが、今回のような写真の場合は目的が違いますから大丈夫かな。それにしても、だんだん慣れていくのが怖い・・・



南南西の地平線から北側へ上っていく ATV2 と ISS
(※ATV2 は光度が暗いのでわかりにくいです)

どれをとっても中途半端ということ 広角レンズのバリエーション

普段の星野撮影には 35mm 換算 28mm 程度のレンズが重宝で、良く使います。APS 換算では 20mm 前後ということになりますが、その系統のレンズは、これまでオーロラを見に行く度に買い増したレンズがたまっています。

しかしながら、APS フォーマットになってからレンズのアラがやたらと見えるようになってきて、帯に短しタスキに長し、これ 1 本というものがありません。

デジカメ標準装備のズームレンズでは暗いし、F2.8 程度の専用レンズがあればよいのだけれど結構高いし、しばらくは用途に応じて使い分けが続くのかしら・・・



メカが大好き PST

太陽活動がだんだんと活発になってきました。昨年までは太陽を見てもプロミネンスはおろか黒点もほとんどなくて、寂しい状態でしたが、最近はフレアやプロミネンスもよく見えるようになってきました。

というわけで、ここのところご無沙汰していた PST を出してきて太陽の観察を楽しんでいます。手軽に太陽が見えるように企画された商品なので、口径もわずか4cm、H α のバンド幅の切れ味はそれほどでもありませんが、普段はまったく見えない対象が見えるということもあって、興味はつきません。

せっかくよく見えるのだから、写真撮影もしたくなるというもので、写真のような拡大撮影のシステムを組んでみました。顕微鏡の接眼レンズをリレーして、おおむね視野いっぱいには太陽像を結ぶようにしてみました。H α の光しか通していないので、デジカメの R 画素しか使用されず、実際上はカメラの画素数は 1/3 になるうえに、センサの感度もかなり低い様子なので、結構撮影に苦労します。

写真撮影のほうは、まだまだ試行錯誤状態で、なんとか大きなフレアが写る程度ですが、これから徐々に高めていきたいと考えています。



Books & CDs Alice's Adventures in Wonderland / Lewis Carroll

「不思議の国のアリス」のしかけ絵本であります。邦訳のほうもありますが、そちらは結構高いので、内容的にまったく同じオリジナルを買うのがおすすめです。

それにしてもまあ、これだけ複雑な仕掛け絵本を作るものだと感心します。昔には、日本にも「飛び出す絵本」という一連のシリーズがありましたが、今はすっかり淘汰されてしまってみかけなくなってしまいました。

構造の複雑さから見て、子供が楽しむというより、一種のインテリアとして楽しむのがよいのかと思います。



編集雑記

先月と今月は予定していた大ネタが沈没した関係もあり、2ヶ月続いている人工衛星ネタでした。

先月のこのとり、今月の ATV2、そして先日にはスペースシャトルの打ち上げがありました。その打ち上げは、例によって NASA ウェブサイトの NASA-TV で見ていたのですが、同時にライブ中継されていた CNN に比べて、約1分の遅れがありました。いろいろなサーバーを経由してくるので、それ相当の遅れが生じてくるようです。もちろん、CNN とて、アナログ時代には無かった、デジタルデータのエンコードやデコードによる遅延、衛星経路による時間差もあって数秒の遅れが生じていると思うのですが、さすがに1分遅れともなると、ライブなのか録画なのか微妙ですな。

